

人間本来の個性を

最大限に引き出す

生徒の個性を尊重する
自由な学風の
中学・高校時代だった

甲南で過ごした日々のことは今も鮮明に覚えています。自由な校風で、先生は生徒を決して型にはめようとしなかった。先生方には『源氏物語』や『新古今和歌集』といったそれぞれの専門があり、教科書から離れた文学論が度々展開されていました。でも、きみも文学好きになればと決まっていた。押し付けられることなく、先生の学問観なり人生観なりを僕たちに示してくださるかわかり方でした。演劇部での先輩との触れ合いも知的な成長を速めてくれました。甲南は当時では珍しい中高一貫校で、中学生だけの演劇部にはない厚みがあった。中学2年のときお年玉で坪内逍遙の『ザ・シエークスピア―全戯曲』を買って読んだし、モリエールやチエーホフ、トルストイについて先輩と議論するという環境でした。先生や演劇部の先輩に教わった「演劇とは、技術ではなく人間の問題。演劇を通じてどこまでそこ

に到達できるか」。

この考えは現在も僕の土台です。これがなければ、今のようにこの仕事をしているか見当もつきません。

創立者の平生先生が掲げておられた「個性の尊重」という理念はよく覚えています。実際に先生から「こうしなさい」と言われた記憶がなく、教わったのは逆に「道徳は古着である」ということ。誰かが打ち立てたモラルは、その瞬間にもう古びている。それを教えこむのではなく、人間本来の個性をどう伸ばすか。それが平生先生の考えだったのだと思います。

演出家の仕事も同じです。どうやって俳優や装置家たちが才能を一杯発揮できるか。皆の個性を最大限に引き出したうえで、その集まりによって化学反応を起こさせる。それが僕の役割です。一人ひとりが自ら考えるようになると、義務感ではなく自主性が出てきます。そのエネルギーをお客さんのほうへ流れるように仕向けるのです。演出の秘訣は忍耐。一人ひとりの個性や自主性が育つまで待つこと。甲南における先生と生徒との関係とまったく同じです。

Profile

笈田ヨシ

おいだ・よし。本名飯田好男。パリ在住の演出家・俳優。1933年神戸生まれ。甲南高等学校・中学校から慶應義塾大学に進学し1957年卒業。文学座、劇団四季を経て1968年渡仏。1970年ピーター・ブルックが設立したC・I・R・T(国際演劇研究センター)に参加。中近東、アフリカ、アメリカを訪れた。1974年より演出家・俳優として海外生活を始める。1992年にフランス芸術文化勲章シュバリエ受勲。2007年同オフィシエ、2013年同コマンドゥールを受勲。著書に『俳優漂流』(五柳書院)がある。最近では2016年マーティン・スコセッシ監督の映画『沈黙』に出演。2017年2月には東京芸術劇場で上演されたオペラ『蝶々夫人』を演出した。

阪神間モダニズムの薫りを今に伝える

1919年、教育者・実業家であり文部大臣を務めた平生凱三郎(ひらお・はちさぶろう)らにより旧制甲南中学校が開校。平生の教育理念である「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重し、各人の天賦の特性を伸長させる」を建学の精神とする。甲南大学は旧制七年制高等学校を母体に1951年開学。現在、文学部・理工学部・経済学部・法学部・経営学部・知能情報学部・マネジメント創造学部・フロンティアサイエンス学部の8学部、人文科学研究科・自然科学研究科・社会科学研究科・フロンティアサイエンス研究科の4研究科、法科大学院を擁する総合大学に発展している。

学校法人

甲南学園



甲南学園

甲南大学 甲南高等学校・中学校

【広報部 広報課】

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

TEL: 078-435-2314 Mail: kouhou@adm.konan-u.ac.jp

2019年4月、甲南学園は
創立100周年を迎えます。